

# 特 集

## 五日市線 利用者 × 市議会

普段から通勤、通学などで、五日市線を利用している方にお集まりいただき、五日市線への思いなどお話を伺いました。



### 五日市線の問題も含め、五日市地区のまちづくりを総合的に考えて欲しいです。

#### 〈五日市線利用の目的は？〉

通勤で武蔵五日市駅から新宿駅まで通っています。東秋留駅から田町駅まで2時間かけて通っています。武蔵増戸駅から川崎駅まで午前6時台の電車で通勤しています。

#### 〈五日市線を利用して感じることは？〉

武蔵増戸駅は、ホームに屋根が欲しいとか、北側に改札口が欲しいとかの話はよく聞きますね。東秋留駅では、電車の待ち合わせで下

り側が待っているとときは、南側の踏み切りが閉まっています。踏み切りが開くのを待っていると上りの電車に間に合わないの、踏み切りをまたいで行く光景を見かけます。何か対策を考えないと危険な状態です。拝島駅の2番線に入る立川発武蔵五日市行きを待っている利用者で、青梅行きを待っている利用者がホームにあふれ、危ないと思うときがあります。しかも、その次の武蔵五日市行きが1番線に待っていることもあって、もっと上手

に調整できないものかなと思います。拝島駅での待ち時間に耐えられず、歩いて帰っちゃおうかなと思ったときもあります(笑)。拝島駅では、駅ナカができたので、待ち時間を潰すのに便利ではありますね。以前は何もなかったですから。拝島駅からあきる野行きのバスが増えたらそちらを利用しますよ。

#### 〈五日市線の魅力は？〉

自然が多くて安心できる。昼間の電車は空いていて、お菓子を食べながらでも、周りに迷惑をかけることもなく、そんな五日市線はホッとします。武蔵増戸駅から武蔵五日市駅の間風景がとても好きで、仕事から帰ってきたときに気持ちが落ち着く風景です。

#### 〈議会だよりを見たことがありますか？〉

「議会だより」と気づかず手に取ってしまいました。なんだろうこの冊子と思って(笑)。

#### 〈市や市議会に望むことはありますか？〉

合併して五日市地区が取り残された感があり偏りを感じています。五日市線の問題も含め、まちづくりについて総合的に考えていただけるといいと思います。議会は、市民と行政をつなげる身近な存在なので、議会だより以外での活動報告も実施して欲しいですね。近くにいる議員さんからの話や、「後援会だより」のようなもので情報を得ているのが現状ですが、それはあくまで個人の活動に限られてしまうので、組織で何をやっているのか、もっと見えるようにして欲しいです。



## ● 9月定例会 ●

### あきる野市の

# こんなことが決まりました。

9月定例会 会期24日間 9月2日～9月25日

今回の議案は

諮問……………1件  
市長提出議案…24件  
陳情……………2件  
議員提出議案…4件  
計31件

今号ではこの中から8つをPick up

全ての議案名と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。ご質問は、議会事務局へお問い合わせください。

### Pick up 1

## 家庭的保育事業等の基準を決めました。

〈議案第30号〉 あきる野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

こどもたちが健やかに成長できる社会の実現を目指し、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問保育事業、事業所内保育事業の基準について、条例で決めました。

質疑意見など

Q 保育所との連携とありますが、具体的には？

A 合同保育、合同健康診断、園庭の開放、保育士が急病などの場合の支援などが考えられます。

● 待機児童解消の趣旨は理解できているが、保育士資格の軽視や、施設の設置基準の不安から、安心して子どもを預けられる基準ではなく、反対します。

● 待機児童の解消について大きな進展があると思いません。



〈議案第35号〉 あきる野市学童クラブ条例の一部を改正する条例

### Pick up 3

## 学童クラブの利用対象者が小学6年生までになります。

法改正により、放課後児童健全育成事業の対象となる範囲が拡大されたことに伴い、学童クラブの利用対象児童が小学4年生までから小学6年生までに拡大されます。

質疑意見など

Q 5・6年生が対象となることで、どのくらい人数が増えますか？

A 5・6年生約1500人中の5%で、約70名を見込んでいます。

Q 高学年に対応できる指導員確保の考えは？

A 館長、指導員からなるプロジェクトを立ち上げ準備を進めています。



〈議案第34号〉 あきる野市営住宅条例の一部を改正する条例

### Pick up 2

## 市営住宅の名称は、草花公園タウンとなります。

草花に建設中の市営住宅は、名称が「草花公園タウン」となります。また、「期限付き入居」のルールを新たに追加し、入居期間は、原則16年までとなります。

質疑意見など

Q 期限付き入居を定めた背景は？

A 今までは3親等まで継続入居でき同一世帯の方が、50年近く住んでいるケースもあります。入居待ちの方も多く、効率よく運用できるように決めました。



〔陳情第26―8号〕 手話言語法制定を求める意見書提出についての陳情

### Pick up 4 手話言語法制定を求め意見書を提出します。

どこでも手話による情報の提供が受けられ、きこえない子どもが手話で学べるようにし、手話を言語とする環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の早期制定を国へ要望して欲しいという陳情です。全議員の賛成により、意見書を提出することになりました。

こんな意見ができました

- 東日本大震災で通訳がなく、情報が得られない状況があると聞きました。ろっあの方とろるあ者以外の方が、共に生きていける環境づくりが必要であり賛成します。

- ユニバーサルデザインを目指すべき国としては、手話言語法を早期に制定するのが義務だと思いい賛成します。



手話で陳述をする陳述者(右は通訳者)

〔陳情第26―9号〕

「労働者保護ルールの見直しに関する意見書」の提出に関する陳情

### Pick up 5 労働者保護ルール見直しの意見書を提出しません。

「解雇の金銭解決制度」<sup>※</sup>「ホワイトカラー・イグゼンション」等の労働者保護ルールの見直し、経済の好循環に逆行する懸念があるので慎重対応すること等の要望を盛り込んだ意見書を、国へ提出してほしいという陳情です。反対議員が多かったため意見書は提出しません。

こんな意見ができました

- 雇用というのは正社員が当たり前であって、国は働く人が大切にされる労働現場を作ることに責任を持った制度を作っていく必要がある。

- 地方自治体で協議する話ではなく、国会審議の中でも議論されているので、それを見守っていきたい。



陳情者から内容説明を聴く(陳述)

※ホワイトカラー・イグゼンション  
高収入の高度専門職を対象に、働いた時間に関係なく成果に対して賞金の支払いをする制度

〔議員提出議案26―4号〕 消費税10%への引き上げを凍結するよう求める意見書

### Pick up 6 消費税引き上げの凍結を求める意見書は提出しません。

今年4月に消費税8%へと増税した結果、GDPは過去20年間で5番目の大きなマイナス幅となりました。国民生活を考え、来年10月から予定されている消費税10%への引き上げを当面の間凍結することを国へ要望するものです。反対議員が多かったため意見書は提出しません。

この議案を提案した会派

- 議案提出会派
  - 賛成会派
  - 賛成会派
- 日本共産党あきる野市議団  
政和会  
民主党



〔議員提出議案26―6号〕 地方税財源の拡充に関する意見書

### Pick up 7 地方税財源を拡充するよう意見書を提出します。

近年の税制改正で導入が相次ぐ、地方固有の税を国税化する国の対応に反対し、地方が責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方財源の拡充を求め国へ要望するものです。全議員の賛成で意見書を提出します。

〔議員提出議案26―7号〕 軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを求める意見書

### Pick up 8 軽度外傷性脳損傷に関わる意見書を提出します。

軽度外傷性脳損傷は、自覚症状があっても画像検査では異常が見つかりにくく、労災等の補償対象とならないケースや、働けない場合があります。そこで国民はじめ教育機関などに広く周知を図り、適切に認定が行われるよう国に要望するものです。全議員の賛成で意見書を提出します。



\*千円以下切り捨て

**総務費**  
**37億6628万円**

旧秋川図書館耐震補強等工事 2499万円  
千代里会館改修工事 5244万円



千代里会館

**民生費**  
**117億6184万円**

児童手当 13億8164万円  
生活保護費 扶助費 15億3292万円



**衛生費**  
**30億5744万円**

阿伎留病院組合負担金 7億1200万円  
西秋川衛生組合負担金 5億4220万円



西秋川衛生組合

**農林水産費**  
**4億2816万円**

地籍調査事業委託 2733万円  
森林間伐作業委託 2829万円



**商工費**  
**2億6194万円**

商工会事業補助金等 4245万円  
商工振興経費補助金 450万円  
旧戸倉小学校活用調査委託 450万円



**土木費**  
**35億9904万円**

除排雪対策経費の車両等借上料 6596万円  
森ノ下地区防災公園整備経費 用地買収費 3億7177万円



森ノ下公園

**消防費**  
**11億638万円**

東京消防庁事務委託 8億6236万円  
ハザードマップ作成委託 240万円



ハザードマップ

**教育費**  
**36億342万円**

小中学校エアコン設置工事 5億9391万円  
秋川キララホール指定管理委託 6834万円



**教育費**

国民体育大会開催事業補助金 1億342万円  
学校給食食材材料費(秋川、五日市) 3億4700万円



五日市学校給食センター

# 平成25年度決算をチェック

## 税金の使い方を確認しました。

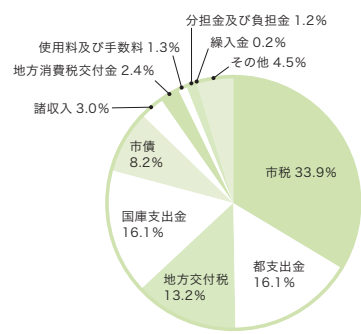
**使ったお金 (一般会計)**  
**305億5206万3251円**

**一般会計+特別会計**  
**491億420万4151円**

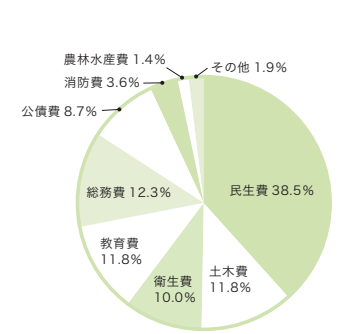
市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査・確認を受けなければなりません。そのため、9月17日・18日の2日間、皆さんが納めた税金がどのように使われたか、決算特別委員会を開催し確認しました。そして全ての決算が認定されました。使い道について一部を左ページで紹介します。

平成25年度各会計決算状況

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	312億3758万3868円	305億5206万3251円
特別会計		
国民健康保険	94億6621万7490円	89億6213万3768円
後期高齢者医療	15億1536万6927円	14億7100万5664円
介護保険	49億5759万3015円	48億2546万6429円
戸倉財産区	2617万602円	2430万3374円
下水道事業	32億5839万9610円	32億3532万6049円
テレビ共同受信事業	3390万5616円	3390万5616円



一般会計歳入



一般会計歳出

## あきる野市議会 自民党

賛成

歳入については市税が6700万円増加した。また、「地域の元気臨時交付金」12億円超が交付され、基金繰入れや市債発行が最小限に抑えられた。地域活性化協働センターが設置され、「観光都市あきる野」の実現



奥秋議員

に向けて様々な施策が実施された。南小宮の市営住宅が、平成27年2月に完成する。旧市営住宅跡地は、全て売却するとの答弁を得た。全ての小・中学校の教室にエアコンが設置された。統合され廃校となった戸倉小学校は、再活用について検討が進められており、戸倉地区の観光の拠点となる施設に生まれ変わって欲しい。土地開発公社の解散については、市長の苦渋の選択を評価する。以上、いくつか評価を申し述べ、賛成討論とする。

## 公明党

賛成

平成25年度一般会計決算の状況は、財政指標の経常収支比率及び公債費率の改善が進み、財政調整基金残高も増加しており、行政改革に一定の改善が見られる。歳入については、市税徴収率が97%と大変高く、我が会派提言のコンビニ収納の取り組みも、一定の成果を上げていたと自負すると共に、関係職員の徴収努力を高く評価する。主な事業では、私立保育園の整備や、南秋留児童館の改修により、利用環境の向上が進んだこと。また、全小・中学校のエアコン設置が終了し、学校トイレの洋式化も進んでいることなどを大いに評価する。今後も、多様な課題に積極的に取り組まれることを要望し、賛成討論とする。



松原議員

## 民主党

賛成

各事業について評価や意見が記載された事務報告書を来年は求めます。評価せず次の予算は立てられません。市税徴収率97%は前年度より0.7%増と財源確保の努力が伺えます。執行率96.9%、不用額合計約8億3千万円、前年度から約1億7千万円減は評価します。民生費の不用額が、前年度から約6千万円増の約3億3,500万円。扶助費の対象者把握等、難しい問題はありますが、執行見込みを適切に精査し予算計上するよう求めます。予備費の充用は金額・件数共に前年度より増。大雪による除雪対策費の充当は仕方ありませんが、充当先で充当額以上の不用額が出ている点について一層の改善を求めます。予算の執行上、問題はありませので決算の認定に賛成します。



中村議員

## 政和会

賛成

平成25年度市政方針による、市民との協働など行政改革は身を結ぶ一方、財政基盤の強化は行き届かない。いつもながら、厳しい自主財源で、財源確保が早急の課題である。その中で、歳入を上げる努力や、無駄のない歳出の使途を評価する。中でも「地域の元気臨時交付金」12億円を引き出し学校の空調設備等々の工事が出来た事は称賛に値する。時代の状況で、借金は控えなければならないが、武蔵引田駅周辺地区まちづくりに莫大な借金を必要とする。身近な市民生活上の要望にも応える職員のご努力をたたえ、さらなる財政基盤強化を望み賛成とする。



合川議員

## 平成25年度決算をチェック



# このような理由で一般会計決算の 認定に賛成・反対しました



細谷委員長

定例会最終日に、決算特別委員会が審査した結果を細谷委員長が報告し、全会派が平成25年度一般会計決算の内容について賛成・反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。

## 自由民主党 志清会

賛成

社会保障関係経費の伸びが続き、行政改革の成果で経常収支比率や将来負担比率など多くの財政指標が改善した。財政調整基金の残高が標準財政規模の割に到達し、土地開発公社の解散も視野に入ってきた点を高く評価する。次なる段階として子育て世代の定住促進、保育・教育環境の充実、ふるさと納税の活用などに取り組んで頂きたい。歳入では市税徴収率が97%に上昇したほか、資産の貸付や売払いが伸び、自主財源の確保につなげた点を評価する。歳出ではコミュニティ事業交付金の創設や地域防災力の強化、小中学校へのエアコン設置が図られたほか、秋川渓谷などの観光プロモーションの推進、国民体育大会の成功などを評価する。



子籠議員

## 日本共産党 あきる野市議団

反対

個人市民税は年少扶養控除の廃止による増収を差し引くと、年金や給与所得が減り減収となった。小・中学校のエアコン設置や学童クラブの耐震化と定員増が図られたことは評価する。のバスの早急な増発・増便を求めます。市広報、ハザードマップは全戸配布すべき。いきいきセンター温水プールは通年運営を。観光対策として深沢家跡地に駐車場の設置を求める。郷土の恵みの森事業に際限なく税金をつぎ込むことは市民の理解が得られない。国民体育大会の市負担分が1億4千万円、東京都に財政支援を求めるべき。武蔵引田土地区画整理に多額のお金をつぎ込んできた。今後も住民の声をよく聞くよう求める。住民の福祉の増進を図ることに最優先に税金を使うべきだった。



山根議員

聞いてみたい  
こんなこと



# 一般質問

## 一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 18名 質問 37項目

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から本会議録画中継」を検索してください。公開は次の12月議会初日からです。

## 観光について



**AQ** 年間観光客数の算出方法は、西多摩広域行政圏で5年ごとに行い、市内は主要観光施設や宿泊施設、イベント、駅など19地点の数を反映。平成24年度の調査では、西多摩で最も多い年間延べ204万人が訪れている。

**Q** 観光地としての満足度向上と、リピーターを増やすためにもトイレの改善は重要なテーマである。有料化なども視野に検討すべきと思うが見解を伺う。

**A** 本市や関係団体等も含めて、トイレのスタイルや施設機能などについて研究していきたい。

**Q** 歩きたくなるまちを目指すのであれば、休める場所を提供すべきと思う。個人や事業者等と協力し、ベンチを設置している自治体もある。本市でも研究してはどうか。

**A** 過去に、町内会・自治会の仕事が多すぎる等の声が寄せられ、意見を聞くよう求めたが、その後、改善はされたか。

**Q** 町内会・自治会連合会の役員会や全体会の会議などで意見・要望を聞き、行政配布などの依頼件数を少なくするよう配慮している。

**A** スポーツレクリエーション大会について様々な意見がある。今後、開催方法なども含め検討できないか。

**Q** 19回目の参加は、全体の50%強の42団体。実施したアンケート調査をもとに、今後について検討したい。

**A** 社会福祉協議会の会費や赤十字募金など集金の方法について、市はどのような指導を行っているか。

**Q** 集金方法は指導していないが、名前と金額を書いて回す所もあると聞く。集金方



他に読書活動の推進について質問した。

**A** ベンチ等の休憩施設は充足しておらず、寄附あるいは協力の取り組みも研究していきたい。

**Q** 市外の方へ向けた新たなホームページを作るべきと思うがどうか。

**A** 今後、フィルムコミッション専用のホームページを立ち上げ、ロケ地の紹介やテレビ・映画制作者への映像提供、また観光情報を含めて進化させたい。

## 防災

### ハザードマップについて



## 地域

### 町内会・自治会の役割について



**Q** 東京都の土石流及び、地滑り発生調査データに基づき、ハザードマップが作成され説明会が開かれた。

**A** 住民と綿密な協議もなく、区域が決定したと聞いている。再度、住民説明会を開き調整すべきと考えるがいかがか。

**Q** 小宮地区では再調査をしている。平成27年度に説明会を開き、東京都と協議をし、要望に添えるよう考えている。

**AQ** 財産権の侵害はないか。住民自身の生命、身体を守るため自然の危険性を明らかにする。

**Q** 個人住宅建設の場合、補強工事が必要となる。補助制度の考えは。

**A** 東京都では住宅金融支援策は確立されていない。市の補助が発生することも考えられ、東京都の動向を見極める。



**Q** 過去に、町内会・自治会の仕事が多すぎる等の声が寄せられ、意見を聞くよう求めたが、その後、改善はされたか。

**A** 町内会・自治会連合会の役員会や全体会の会議などで意見・要望を聞き、行政配布などの依頼件数を少なくするよう配慮している。

**Q** スポーツレクリエーション大会について様々な意見がある。今後、開催方法なども含め検討できないか。

**A** 19回目の参加は、全体の50%強の42団体。実施したアンケート調査をもとに、今後について検討したい。

**Q** 社会福祉協議会の会費や赤十字募金など集金の方法について、市はどのような指導を行っているか。

**A** 集金方法は指導していないが、名前と金額を書いて回す所もあると聞く。集金方

**Q** 法や意見を聞きつつ、あるべき姿を探りたい。

**A** 防災で、町内会・自治会が配った「無事」の旗を全世界に配れないか。

**Q** 町内会・自治会連合会と防災安心地域委員会が共同で作成した。未加入者にも配布して、加入促進につなげるよう話をする。





政策

## 当市の将来について



中村 のりひと議員

市は、総合計画の基本構想のもと、平成32年度までの長期的展望にたち、住民福祉の向上を図るため、様々な施策を行なっている。人口減少に伴い生産年齢人口も減っていくことが予想されるので、生産年齢人口の割合を増やすことが重要になると考える。

**Q** 生産年齢人口を増やす施策を考えているか。

**A** 転入者や市内在住者等への定住意識等をアンケートにより把握し、分析、課題抽出を行なう。

**Q** 病児保育を行わないのか。

**A** 子ども・子育て支援新制度の事業の一つに、「病児・病後児保育」があり、議論をしている。今後、近隣等において病児保育に取り組むような自治体があれば、その内容等を精査しながら対応していきたい。

**Q** 小・中学生に、「これからのまちづくりについて」のアンケートを実施してはどうか。

**A** 20年後の私とか、20年後のあきる野市等をテーマで作文を書いてもらう計画を進めている。このような機会を通じ、今の小・中学生の考えを集約していくこともひとつの方法であると考え

他に当市の情報公開・共有について質問した。



教育

## いじめの防止等について



清水 賢議員

**Q** 教育委員会制度見直しの背景と同関係法令の整備は、昭和31年制定の地方教育行政の組織及び運営に関する法律は、責任の所在の明確さという課題があり、一部改正が行われたものと認識している。教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化と国の関与の見直しを図る。

**A** 昭和三十一年制定の地方教育行政の組織及び運営に関する法律は、責任の所在の不明確さという課題があり、一部改正が行われたものと認識している。教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化と国の関与の見直しを図る。

**Q** 東京都いじめ防止対策推進条例制定に伴う本市の取組と推進は。

**A** 市教育委員会は平成17年度から、いじめ撲滅三原則を示し、徹底的に指導することとしている。今後、東京都いじめ防止対策推進条例を参考に、あきる野市いじめ防止基本条例（仮称）を平成27年第1回定例会に上程するよう準備している。

他にテマンド（需要）交通、高齢社会の政策について質問した。



教育

## 子どもを取り巻く環境について



西谷 健議員

**Q** 学校基本調査では、平成25年度に全国で不登校だった小・中学生は約12万人で、24年度より7000人増えたとの報道があった。本市の不登校の現状と対策は。

**A** 平成25年度末で小学校21名、中学校69名。対策として、スクールカウンセラーを活用し教育相談の充実、学校と市教育相談所やせせらぎ室との連携の充実を図っている。

**Q** スマートフォンの使用で、いじめやネット依存が深刻化し、使用ルールを定める自治体も増えている。本市、小中学校の対応は。

**A** 児童・生徒数に合わせて、各学校の職層や経験年数を考慮し、法令に従った人員配置の中で、適正に教員数を配置している。



**A** 小中学校への持ち込みは原則禁止。警察や情報通信業者と連携し、セーフティ教室を実施している。また、保護者会等で、家庭でのルールづくり等の必要性を理解する啓発を図っている。

**A** 小学校低学年で70%、80%、中学年で50%、60%、高学年で30%、40%となり、中学校は約50%である。

**Q** 現在、教員の業務が以前より多くなっている。教員の人数は足りているか。

**A** 児童・生徒数に合わせて、各学校の職層や経験年数を考慮し、法令に従った人員配置の中で、適正に教員数を配置している。

政策

## これまでの質問事項の進捗状況について



中嶋 健幸議員

一般質問にて要望、提案した事項の進捗状況を伺う。

**A** 市営住宅跡地利用について。9団地全て売却方針で8月に「あきる野市営住宅跡地検討会報告書」をまとめた。明け渡しでは個別に説明し誓約書をいただいた。

**A** 山間部の空き家対策について。

**A** 国の「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を待ってアンケートの具体策を考える。中間報告を、本定例会中に説明する。

**Q** 地場産材・利用方針策定について。

**A** 「あきる野市公共建築物等における多摩産材利用促進に関する方針」案を平成27年度から運用しようと考えている。

**Q** 東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致や



**A** 軍道と紙の活用について。参加国のキャンプ地については必要な情報を収集しており、軍道紙使用については、東京都へ要望した。

**A** 旧戸倉小の活用について。宿泊・飲食・体験・展示の運営模擬体験イベントを行い、運営準備委員会の方々と27年8月開設に向けて取り組んでいる。

## 観光農業振興について



戸沢 弘征議員

本市の基幹産業は農業と林業である。ハイテク企業や大型店舗の誘致ではない。農業政策を充実させ、農業後継者を育て、農業で明日の生活ができるよう、まじぐりに観光農業を位置づける必要がある。

**Q** ブルーベリー、イチゴ、トマト、柚子、ハチミツなどの農作物で、観光農業を進めるべきと考えるがいかがか。

**A** 従前から直売所のほか、消費者との交流を深めながら、農業の収益性を高める手法として観光農業も行なわれ



てきた。現在、市内で数件のブルーベリー農園があるが、今後はイチゴやトマトなども、可能性があると思う。

**Q** 2カ所のファームーズセンターを充実させ、体験的農業を打ち出すべきと考えるがいかがか。

**A** あきる野農業を牽引する地産地消の拠点であり、農業者、秋川農協、市と連携した取り組みを行い、成長させていかなければならない。現在、プロジェクトチームにより検討を進めており農業者や消費者の意向を反映しつつ、農業経営の安定化につながるような建設的で積極的な協議を進めたい。

他に空家等対策の推進に関する特別措置法案に対する市の見解について質問した。

## 地域ケア会議について



村木 英幸議員

**Q** 平成25・26年度に、本市及び地域包括支援センターが主催した地域ケア会議の開催数、検討課題、構成員については。

**A** 25年度が各3回、12回、26年度が現在まで2回、5回であった。課題としては認知症徘徊対応や在宅医療、栄養問題等。構成員は保健医療、福祉、学識の各関係者および介護保険被保険者、センター職員、市職員等である。

**Q** 地域ケア会議により、個別及び地域課題の発見や、包括的支援ネットワーク構築についての現状は把握でき

**A** 高齢者の家庭問題や介護サービス等の課題が挙げられており、今後は当事者やその家族等に対する支援策を検討していく必要がある。

**Q** 地域ケア会議で話し合われた課題が、市の介護保険事業の政策となった事象はあるか。

**A** 地域課題の把握や分析に取り組んでいる。今後は長期的視野に立って介護保険事業計画等の行政施策につなげていきたい。

他に教育、環境問題について質問した。



## 財源確保について



野村 正夫議員

**Q** 本市の予算は全体の6割が

国等に頼り、4割が自ら稼ぐ自主財源である。この比率は極めてバランスが悪い。更に借金やその借金を市民に返してもらう将来負担比率も多摩26市でトップである。このような実態から将来負担比率を他市並みに改善し、市民が希望を持てる施策を図るべきである。そこで、東京都や国と連携し、旧秋川高校跡地に高齢者総合福祉施設の誘致や、市が土地開発公社から約2億5千万円で買い戻した約36万㎡もの遊休地等を活用し、自主財源確保を図って

はどうか。

**A** 財政基盤の安定性や行政活動の自立を確保し、それぞれの時代に即した行政需要に、的確に対応した施策やサービスを提供していくために、自主財源である市税の収入確保を図ることが必要である。実際に税負担を受け持つことが出来る能力の高い個人や法人を増やすことが重要となるため、定住促進担当の職員を配置する取り組みを始めている。中長期的に考え、効果的な施策を打つ必要がある。

## 小学校における英語教育について



天野 正昭議員

国際社会で活躍する能力を育てるために、小学校での英語教育は重要と考える。

**Q** 本市では外国語の体験授業を実施しているが、国は平成32年度より英語科を正式な教科として採用しようとしている。

**A** 小学校で行われている外国語体験授業とは、外国人教師による生の英語に親しみ、英語によるコミュニケーション能力の素地を作ることを狙いに5・6年生に対し年間35時間の授業を実施している。

**Q** 問題点はあるか。

**A** 補助教員である外国人教師は委託会社の入札で毎年決定しているため、すぐに先生が変わってしまう事もあり、子どもたちの学びの継続性が絶たれる事が課題である。今後、複数年契約も

**Q** 検討したい。

**A** 英語科目の教科指定に向かい、本市は英語教育を重要な教育項目として取り上げるか。

**Q** 重点科目の一つを英語とし、全小中学校で系統的な指導が実施できるように小中一貫教育の視点から検討していく。

**A** 他に子ども子育て支援新制度関連について質問した。





子育て

## 児童育成環境の充実について



田中 千代子議員

平成27年度実施予定の子ども・子育て支援新制度に向けたニーズ調査が終わった。市民のニーズに応えられる新制度になることを願っている。児童の育成については、0歳から18歳まで年齢に沿った環境を作っていくことが必要と考える。

**Q** ニーズ調査の結果から見えた本市で一番必要とされている子育て支援は何か。  
**A** 市内在住の、0歳から小学4年生までの保護者3000人を対象にニーズ調査を実施した。教育・保育では、0歳から2歳までの保育所

入所の希望が定員を上回っており、受け入れ確保を検討している。地域子ども・子育てでは、学童クラブの希望が定員を上回っており、公共施設等の有効活用を図ってきたい。  
**Q** 中学生・高校生の自主性を育てながら、主体的に活動ができるような「居場所づくり」に取り組み支援ができないか。  
**A** 中・高生の居場所づくりの必要性は認識している。青少年委員が行った「中・高生の居場所アンケート調査」の報告書などを十分参考に、今後青少年委員の方々と連携・協力して、中・高生の居場所づくりについて調査研究を進めていきたい。



他に安全安心まちづくりについて質問した。

政策

## あきる野市営住宅 検討会について



奥秋 利即議員

**Q** 平成26年6月定例会において、あきる野市営住宅跡地について質問した。市営住宅の跡地検討会で話し合われた内容は、あくまで財政健全化の一助として売却することで、隣接する道路や境界の整理などが目的であった。防災の一時避難所の定義は最低1ヘクタールとされ、市営住宅の中で一番広い面積の油平跡地でも1ヘクタールの半分以下と聞く。市営住宅跡地は、防災の一時避難所としての利用はできないと考えるがいかがか。  
**A** 市営住宅の跡地については、公共的活用が図れるかを視野に入れながら、売却処分を含めた検討をしており、財政の健全化を図るために、基本的に跡地は売却する方針である。市営住宅跡地検討会は、9団地ごとの地域

特性、公共的活用の可能性、売却に向けての課題整理などについて検討することを目的に設置された。今後、周辺の状況の検証や売却見込み額の算定を行い、将来の財政負担の軽減を図るために、全ての跡地で売却方針の報告書をまとめた。



環境

## 横田基地に関する市民の不安解消について



たばた あずみ議員

オスプレイの飛来実績が作られようとしている。本市では、既にC-130輸送機の訓練飛行による騒音被害や不安の声がある。

**Q** 今後もオスプレイの飛来を受け入れるべきではないと考えるが、市の考えは。  
**A** 市では、安全面での問題が解消されないままの横田基地への飛来や配備について、容認できないと要請をしている。今後も必要に応じ、関係各所に要請を行う。C-130を含め、本市上空での訓練をしないよう要請すべきではないか。



**A** ここ数年、低空飛行が増え、市民からの苦情も増加傾向にあると認識している。防衛施設周辺整備全国協議会を通じ、市街地上空での低空飛行等に関する停止要請や、基地周辺対策の充実を引き続き要請する。  
**Q** 保育園・幼稚園・学校・病院の上も訓練飛行しているのは日米合同委員会の合意に反する。国の責任で騒音測定をし、合意を守らせるよう要請すべきではないか。  
**A** 本市の状況を理解してもらうために、強い要請をした。苦情件数が格段に伸びていることを考慮し、今後、東京都や横田防衛事務所騒音測定を打診したい。

他に若い世代の健康づくり、市民相談窓口について質問した。

教育

## 教育について



松原 敬雄議員

**Q** 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（改正地方教育行政法）」が成立し、平成27年4月1日から施行される。法律の改正評価と、市の教育行政の今後について伺う。  
**A** 今回の改正で、教育の政治的中立性が確保されるなか、教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化が図られる。今後は新たに設置する総合教育会議で、大綱の策定や、重点的に講ずべき施策の協議等を行い、教育目標の実現に取り組む。

**Q** 児童・生徒に病气、けが及びアレルギー疾患などで救急搬送が生じた際、学校、救急隊、病院などに迅速な情報提供ができ、連携した対応が図れるよう児童・生徒を対象とした「(仮称)

子ども安心カード(救急医療情報キットの子ども版)を作成する考えはあるか。  
**A** 現在、小中学校では保健緊急連絡表などに、保護者が必要事項を記載して学校へ提出し、担任らが救急隊員に情報提供している。今後は、事前に保護者の了解が得られた児童・生徒については、現在使用しているカードの写しを救急隊員に渡すことを検討していく。



防犯

## 振り込め詐欺対策について



子龍 敬人議員

**Q** 市内の振り込め詐欺の発生件数及び被害額の状況は。平成24年度が11件で被害額は4464万円、25年度は18件で6910万円、26年度は8月まで7件で1440万円となっている。

**A** 「振り込め詐欺見張り隊」などの通話録音装置の普及により一層の対応を求めるがどうか。また、町内会・自治会と連携し、東京都の地域の底力再生事業を活用して配備を進めてはどうか。

**A** 警視庁が進めている見張り隊の設置を支援し、警視庁や福生・五日市の両警察署に保有台数の増加を求めて



いく。都の助成金を活用するには、設置した家を定期的に訪問する地域活動が必要とのことである。

**Q** 指定寄附を原資にして装置の配備を進める考えはないか。また、その手法の延長として、クラウドファンディングを活用してはどうか。

**A** 寄附を原資とした配備については、警視庁の装置が不足し、設置が期待できない際に検討していく。クラウドファンディングについても研究していきたい。

**Q** 市ホームページの中で振り込め詐欺対策・撲滅の啓発や情報提供を充実させてはどうか。

**A** 他市の好事例を参考にし、充実させたい。他に単身世帯の増加と対策、子どもの貧困対策について質問した。

福祉

## 高齢者が安心して暮らせる福祉の充実について



村野 栄一議員

**Q** 近い将来予定される在宅医療を実施すると、市民にどのような影響があるか。また、その実施スケジュール及び周知方法並びに期間をどのように考えているか。

**A** 在宅医療と介護の連携により、病状の悪化や変化があった場合に、適切な医療や介護の提供を受けることが可能で、入院せずに自分らしい生活を継続できる可能性が高い。今後、在宅に関する医療機関と介護サービス事業者など関係機関と協議を進め、早期に実施できるよう検討していく。

**Q** 社会全体で認知症を支えるための取り組みに当たり、現状や課題はどのようなことが考えられるか。また、厚生労働省や東京都は「徘徊SOSネットワーク」の構築を促しているが、本市では同様のネットワークを

構築する予定はあるか。

**A** 認知症サポーターは受講生の総人口に占める割合は5764人。26市が一番である。今後も認知症の方を温かく見守って活動して頂ける人の裾野を増やし、他地域の取り組みや先進地事例を参考に効果的なネットワークを構築していきたい。

他に教育基本計画について質問した。



※クラウドファンディング  
プロジェクトのための資金を調達したい個人・団体が、ソーシャルメディアをはじめインターネット上で企画内容と必要な金額を提示し、広く支援を呼びかける手法。

## 全般 安心安全まちづくりについて



澤井 敬和議員

**Q** 都市計画道路事業区間における住民の生活再建について、事業中の秋3・4・5号線（永田橋通り）の沿道の用途、容積、建ぺい率の見直しをどの様に考えているか。

**A** 道路整備を契機に、秋川駅北口地区、原小宮地区、武蔵引田駅北口開発予定地区による複合市街地との整合を図れるような土地利用のあり方を検討したい。



またこの問題について地元提案していることがあるか。

**A** 同地区の公共下水道整備事業は二重投資を避けるため土地区画整理事業に合わせ実施予定である。市では家庭用雑排水吸込槽の清掃経費の一部を助成している。吸込槽の機能が損なわれている住宅については現地の状況や地元の意向を把握しながら、対応策を検討したい。

**Q** 私立幼稚園から子ども・子育て支援新制度へ移行の申し出はあるか。また新制度に移行した場合、待機児解消を見込めるか。

**A** 移行検討中が3園、移行しないで検討中が2園、移行しない予定が1園である。待機児解消に向けた有効な確保策と認識している。

## 市議のQ&A 市の

### 請願・陳情の提出方法

12月定例会では11月19日(水)までに提出された請願・陳情を審査します。

#### 〔請願〕

市議会議員の紹介が必要で、議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

〔陳情〕  
市議会議員の紹介は不要です。取り扱いについては、請願と同じです。

#### 〔書き方〕

● 請願(陳情)の趣旨、理由については、できるだけ簡潔に書いてください。また、場所などの表示が必要なのは、図面を付けてください。

● 2名以上で請願(陳情)を行う場合は、住所・氏名を書いた署名簿を添えてください。なお署名者がその請願(陳情)の趣旨に賛同していることがわかるように、各署名簿に住所・趣旨、理由を記載してください。

〇〇〇に関する請願(陳情)

1. 趣旨	〇〇〇〇	日
2. 理由	〇〇〇〇	年 月
紹介議員	〇〇〇〇	日
請願(陳情)者	〇〇〇〇	年 月 日
住所	〇〇〇〇	外 名
氏名	〇〇〇〇	〇〇〇〇
電話番号	〇〇〇〇	〇〇〇〇
あきる野市議会議員	〇〇〇〇	〇〇〇〇

#### 〔提出先〕

あきる野市役所本庁舎6階の議会事務局に直接持参してください。  
受付時間：平日8時30分～17時15分

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
TEL(0265)11111

## 市議のQ&A 市の

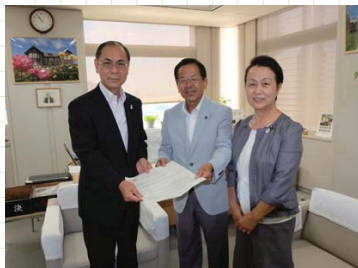
## あきる野市議会活動レポート

### 救命講習会



7月10日に、あきる野市議会、日の出町議会、檜原村議会で組織する秋川流域市町村議会正副議長会主催による、普通救命講習会が「ひのでグリーンプラザ」で開催されました。秋川消防署の署員の方を講師に迎え、AEDの使用方法などの講習が行われました。

### 南岸道路要望活動



横溝建設局長へ要望書を渡す清水会長（中央）

あきる野市と檜原村の議会で組織する秋川南岸道路建設促進協議会は、8月1日に清水会長（あきる野市議会）が代表で、東京都建設局と西多摩建設事務所を訪ね、建設促進のための要望書を提出しました。

### 第52回東京河川改修促進大会



7月30日に、日本青年館大ホールで第52回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会が開催され、本市議会を含む東京14区21市2町1村の約1,200人の議会議員が参加しました。本大会により東京全域の河川改修など、治水対策の促進を国、東京都へ要望活動が行われます。

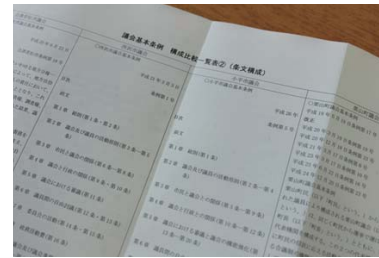
### 市営住宅の建設現場視察



環境建設委員会では、9月11日に草花地区に建設中の市営住宅を視察し、建設の進捗状況を確認しました。

## 1 議会改革推進委員会の進捗状況です。

6月30日から9月19日まで6回の委員会を開催しました。委員会では、議会基本条例の素案づくりや政務活動費のマニュアルづくりについての話し合いが行われていました。有識者を招き実施した勉強会や、行政視察に行った議会及び先進市議会の条例などを参考に、話し合いが進んでいます。また、政務活動費のマニュアルについても、現在の使用基準を確認しながら見直しを行い、マニュアルづくりを進めています。



## 2 東京消防庁から感謝状をいただきました。

あきる野市議会、日の出町議会、檜原村議会で組織する秋川流域市町村議会正副議長会が東京消防庁秋川消防署長から感謝状をいただきました。これは本会が主催となり3議会の議員を対象に、救命講習会（P23市議会レポート参照）を積極的に実施し、救急業務の充実発展に貢献したことへの感謝状です。当日は、代表であるあきる野市議会の堀江議長が感謝状を受け取りました。

